

宇宙開発の現状報告

(平成 19 年 4 月 18 日(水) ~ 平成 19 年 4 月 25 日(水))

平成 19 年 4 月 25 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

4 月 23 日(月)

- 第 3 回宇宙開発委員会推進部会
【松尾委員長、青江委員、池上委員、野本委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

4 月 25 日(水)

- 「はやぶさ」地球帰還に向けた本格巡航運転開始
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】
「はやぶさ」は、燃料漏洩に起因するガスの噴出による姿勢変動を生じたこと等により、復旧作業を行っていたが、この度、復旧に目途が立ち、4 月 25 日に実施した運用をもって、地球に向けた本格的な巡航運転を開始する予定。

宇宙開発に関する海外の動向

2 月 20 日(火)

- ドニエプルロケット、地球観測・通信衛星等の打上げに成功
【露】

4 月 17 日(火)6 時 46 分(世界標準時)、ISC Kosmotras 社は、バイコヌール宇宙基地より、ドニエプルロケットを打ち上げ、エジプトの地球観測・通信衛星「エジプトサット1(EgyptSat-1)」、サウジアラビアの地球観測実験衛星「サウジサット3(SaudiSat-3)」及び商業通信衛星「サウジコムサット(SaudiComsat)」5 機及びキューブサット7機の計 14 機の所定の軌道投入に成功した。

4 月 23 日(月)

- 第 14 次長期滞在員等帰還
【露】

4 月 21 日(土)12 時 31 分(世界標準時、以下同)、ソユーズ宇宙船がカザフスタン共和国に着陸し、第 14 次長期滞在員 2 名(米・露)、宇宙旅行者 1 名が無事帰還した。また、2007 年 1 月 18 日(木)にプログレスにより打ち上げられ国際宇宙ステーション(ISS)において実験が行われていた宇宙航空研究開発機構(JAXA)のタンパク質結晶生成実験装置も回収された。

- BNSC と NASA、月探査に関する協力協定締結
【英、米】

4 月 20 日(金)(現地時間、以下同)、英国国立宇宙センター(BNSC)は、月探査に関する協力協定を米国航空宇宙局(NASA)と締結したと発表した。同協定は、4 月 19 日(木)、ワシントン DC において、NASA のグリフィン長官と英貿易産業省(DTI)科学・イノベーション局の Keith O'Nions 局長により署名されたもの。月科学・月探査に関する将来の協力を検討する両者の合同チームが創設される予定。